

告知・周知原稿

読売新聞 掲載 告知・周知原稿

(全五段掲載) 東京会場 / 2010年12月9日(木)夕刊、12月19日(日)朝刊
名古屋会場 / 2011年1月10日(月)朝刊
(半五段掲載) 東京会場 / 2010年12月13日(月)夕刊

第6回 医療機器市民フォーラム

白内障、緑内障、加齢黄斑変性 「目の病気」

— 予防・診断・治療の最前線 —

参加無料
(定員) 800名

2011年1月15日(土) 14:00~17:25 (開場13:00)

会場 よみうりホール(有楽町)

東京都千代田区有楽町1-1-1
読売会館7階(丸の内線・有楽町線)ビックカメラ

白内障、緑内障、加齢黄斑変性。決して他人事ではないこれら「目の病気」に対して、人々の関心が高まっています。このフォーラムでは、専門医が「目の病気」による「失明」をゼロを目指しての予防法や最新の治療法について、講演やパネルディスカッションを通じてご紹介します。

申し込み方法

本フォーラムの参加については、以下の3つの方法でお申し込みいただけます。郵送券も、住所、氏名(フリガナ)、年齢、職業、参加人数を明記の上、ご応募ください。

1.ハガキ 〒141-0031 東京都品川区西五反田7-19-1 「医療機器市民フォーラム」事務局
2.FAX 03-5435-9972
3.インターネット <http://www.smet.jp/forum/>
<http://www.jfmda.gr.jp/mets/event/>

申込締切
12月27日(月)必着

お問い合わせ「医療機器市民フォーラム」事務局 TEL:03-6431-8936(土日祝を除く10:00~17:00)

当日配布資料

プログラム

第6回 医療機器市民フォーラム

白内障 緑内障 加齢黄斑変性

「目の病気」

— 予防・診断・治療の最前線 —

2011年1月15日(土)
14:00~17:25 (開場13:00)

会場 よみうりホール(有楽町)

東京都千代田区有楽町1-1-1
読売会館7階(丸の内線・有楽町線)ビックカメラ

主催 医機連 医療技術産業総論コンソーシアム (METIS)
後援 内閣府、厚生労働省、経済産業省、文部科学省、日本眼科医会連盟
特別協賛 OLYMPUS 富士フイルムヘルソニック TERUMO 日本光電

ごあいさつ

「目の病気」予防・診断・治療の最前線〜
白内障、緑内障、加齢黄斑変性。決して他人事ではないこれら「目の病気」に対して、人々の関心が高まっています。このフォーラムでは、専門医が「目の病気」による「失明」をゼロを目指しての予防法や最新の治療法について、講演やパネルディスカッションを通じてご紹介します。

プログラム

13:00~	開場
14:00~14:05	開会挨拶 根本 昭氏
14:05~14:20	プログラムコーディネーター挨拶 根本 昭氏
14:20~14:30	第1部講演 白内障 永本敏之氏 緑内障 富田剛司氏 加齢黄斑変性 湯澤美都子氏
14:30~14:45	第2部パネルディスカッション 白内障 永本敏之氏 緑内障 富田剛司氏 加齢黄斑変性 湯澤美都子氏 司会 前野一雄氏
14:45~15:00	第3部パネルディスカッション 白内障 永本敏之氏 緑内障 富田剛司氏 加齢黄斑変性 湯澤美都子氏 司会 前野一雄氏
15:00~15:15	閉会挨拶 根本 昭氏

出演者プロフィール

根本 昭氏 1976年東京大学医学部卒業。1981年東京大学大学院医学研究科眼科学専攻博士課程修了。1984年東京大学医学部眼科学科講師。1988年東京大学医学部眼科学科助教授。1994年東京大学医学部眼科学科教授。2003年東京大学医学部眼科学科長。2007年東京大学医学部眼科学科長。2010年東京大学医学部眼科学科長。2013年東京大学医学部眼科学科長。2016年東京大学医学部眼科学科長。2019年東京大学医学部眼科学科長。2022年東京大学医学部眼科学科長。	永本敏之氏 1983年東京大学医学部卒業。1988年東京大学大学院医学研究科眼科学専攻博士課程修了。1991年東京大学医学部眼科学科講師。1994年東京大学医学部眼科学科助教授。1997年東京大学医学部眼科学科教授。2003年東京大学医学部眼科学科長。2007年東京大学医学部眼科学科長。2010年東京大学医学部眼科学科長。2013年東京大学医学部眼科学科長。2016年東京大学医学部眼科学科長。2019年東京大学医学部眼科学科長。2022年東京大学医学部眼科学科長。	富田剛司氏 1980年東京大学医学部卒業。1985年東京大学大学院医学研究科眼科学専攻博士課程修了。1988年東京大学医学部眼科学科講師。1991年東京大学医学部眼科学科助教授。1994年東京大学医学部眼科学科教授。2000年東京大学医学部眼科学科長。2004年東京大学医学部眼科学科長。2007年東京大学医学部眼科学科長。2010年東京大学医学部眼科学科長。2013年東京大学医学部眼科学科長。2016年東京大学医学部眼科学科長。2019年東京大学医学部眼科学科長。2022年東京大学医学部眼科学科長。	湯澤美都子氏 1979年日本大学医学部卒業。1979年日本大学大学院医学研究科眼科学専攻博士課程修了。1982年日本大学医学部眼科学科講師。1985年日本大学医学部眼科学科助教授。1988年日本大学医学部眼科学科教授。2003年日本大学医学部眼科学科長。2007年日本大学医学部眼科学科長。2010年日本大学医学部眼科学科長。2013年日本大学医学部眼科学科長。2016年日本大学医学部眼科学科長。2019年日本大学医学部眼科学科長。2022年日本大学医学部眼科学科長。
白井正一郎氏 1970年東京大学医学部卒業。1975年東京大学大学院医学研究科眼科学専攻博士課程修了。1978年東京大学医学部眼科学科講師。1981年東京大学医学部眼科学科助教授。1984年東京大学医学部眼科学科教授。2000年東京大学医学部眼科学科長。2004年東京大学医学部眼科学科長。2007年東京大学医学部眼科学科長。2010年東京大学医学部眼科学科長。2013年東京大学医学部眼科学科長。2016年東京大学医学部眼科学科長。2019年東京大学医学部眼科学科長。2022年東京大学医学部眼科学科長。	前野一雄氏 1976年東京大学医学部卒業。1981年東京大学大学院医学研究科眼科学専攻博士課程修了。1984年東京大学医学部眼科学科講師。1987年東京大学医学部眼科学科助教授。1990年東京大学医学部眼科学科教授。2003年東京大学医学部眼科学科長。2007年東京大学医学部眼科学科長。2010年東京大学医学部眼科学科長。2013年東京大学医学部眼科学科長。2016年東京大学医学部眼科学科長。2019年東京大学医学部眼科学科長。2022年東京大学医学部眼科学科長。		

周知チラシ

第6回 医療機器市民フォーラム

白内障 緑内障 加齢黄斑変性

「目の病気」

— 予防・診断・治療の最前線 —

白内障、緑内障、加齢黄斑変性。決して他人事ではないこれら「目の病気」に対して、人々の関心が高まっています。このフォーラムでは、専門医が「目の病気」による「失明」をゼロを目指しての予防法や最新の治療法について、講演やパネルディスカッションを通じてご紹介します。

2011年1月15日(土) 14:00~17:25 (開場13:00)

会場 よみうりホール(有楽町)

東京都千代田区有楽町1-1-1
読売会館7階(丸の内線・有楽町線)ビックカメラ

参加無料
(定員) 800名

申し込み方法

本フォーラムの参加については、以下の3つの方法でお申し込みいただけます。郵送券も、住所、氏名(フリガナ)、年齢、職業、参加人数を明記の上、ご応募ください。

1.ハガキ 〒141-0031 東京都品川区西五反田7-19-1 「医療機器市民フォーラム」事務局
2.FAX 03-5435-9972
3.インターネット <http://www.smet.jp/forum/>
<http://www.jfmda.gr.jp/mets/event/>

申込締切
12月27日(月)必着

お問い合わせ「医療機器市民フォーラム」事務局 TEL:03-6431-8936(土日祝を除く10:00~17:00)

(表)

第6回 医療機器市民フォーラム

白内障 緑内障 加齢黄斑変性

「目の病気」

— 予防・診断・治療の最前線 —

白内障、緑内障、加齢黄斑変性。決して他人事ではないこれら「目の病気」に対して、人々の関心が高まっています。このフォーラムでは、専門医が「目の病気」による「失明」をゼロを目指しての予防法や最新の治療法について、講演やパネルディスカッションを通じてご紹介します。

2011年1月15日(土) 14:00~17:25 (開場13:00)

会場 よみうりホール(有楽町)

東京都千代田区有楽町1-1-1
読売会館7階(丸の内線・有楽町線)ビックカメラ

参加無料
(定員) 800名

申し込み方法

本フォーラムの参加については、以下の3つの方法でお申し込みいただけます。郵送券も、住所、氏名(フリガナ)、年齢、職業、参加人数を明記の上、ご応募ください。

1.ハガキ 〒141-0031 東京都品川区西五反田7-19-1 「医療機器市民フォーラム」事務局
2.FAX 03-5435-9972
3.インターネット <http://www.smet.jp/forum/>
<http://www.jfmda.gr.jp/mets/event/>

申込締切
12月27日(月)必着

お問い合わせ「医療機器市民フォーラム」事務局 TEL:03-6431-8936(土日祝を除く10:00~17:00)

(裏)

冊子「私たちの暮らしと医療機器」

私たちの暮らしと医療機器

私たちが暮らしと医療機器

医療機器は、私たちの暮らしを支えています。最新の医療機器は、病気の予防や治療に大きく貢献しています。この冊子では、最新の医療機器の活用方法や、私たちの暮らしにどのように役立っているのかについて詳しく紹介します。

目次

1 医療機器の活用方法	2
2 最新の医療機器の活用方法	3
3 医療機器の活用方法	4
4 最新の医療機器の活用方法	5
5 医療機器の活用方法	6
6 最新の医療機器の活用方法	7
7 医療機器の活用方法	8
8 最新の医療機器の活用方法	9
9 医療機器の活用方法	10
10 最新の医療機器の活用方法	11
11 医療機器の活用方法	12
12 最新の医療機器の活用方法	13
13 医療機器の活用方法	14
14 最新の医療機器の活用方法	15
15 医療機器の活用方法	16
16 最新の医療機器の活用方法	17
17 医療機器の活用方法	18
18 最新の医療機器の活用方法	19
19 医療機器の活用方法	20
20 最新の医療機器の活用方法	21
21 医療機器の活用方法	22
22 最新の医療機器の活用方法	23
23 医療機器の活用方法	24
24 最新の医療機器の活用方法	25
25 医療機器の活用方法	26
26 最新の医療機器の活用方法	27
27 医療機器の活用方法	28
28 最新の医療機器の活用方法	29
29 医療機器の活用方法	30
30 最新の医療機器の活用方法	31
31 医療機器の活用方法	32
32 最新の医療機器の活用方法	33
33 医療機器の活用方法	34
34 最新の医療機器の活用方法	35
35 医療機器の活用方法	36
36 最新の医療機器の活用方法	37
37 医療機器の活用方法	38
38 最新の医療機器の活用方法	39
39 医療機器の活用方法	40
40 最新の医療機器の活用方法	41
41 医療機器の活用方法	42
42 最新の医療機器の活用方法	43
43 医療機器の活用方法	44
44 最新の医療機器の活用方法	45
45 医療機器の活用方法	46
46 最新の医療機器の活用方法	47
47 医療機器の活用方法	48
48 最新の医療機器の活用方法	49
49 医療機器の活用方法	50

医療の進歩と医療機器産業の 発展に貢献して

日本医療機器産業連合会(略称:医機連)は、各医療機器業界団体の連合会として医療機器産業界の総意を形成し、これらを社会に発信すると共に、産業界に対してもあるべき方向を示す役割を負うことを目的としております。

医機連は、少子高齢化社会の進展による医療の変化、多様化に呼応して、国民が安心して安全で最適な医療を享受できるよう優れた医療機器・医療技術の開発と供給を通じて、関連する法的・技術的・経済的環境の整備に尽力し、医療の進歩と医療機器産業の発展に貢献することを基本使命としております。

主な事業活動



構成

医機連は、現在 20 団体(参加企業数約 4,900 社)[設立当初 15 団体(参加企業数約 3,000 社)]及び当連合会の目的に賛同された賛助会員(130 社を超える企業)で構成されています。

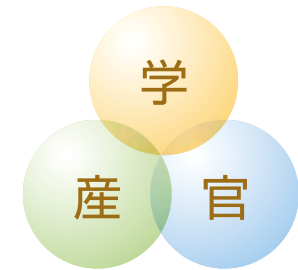


事務局: 日本医療機器産業連合会(医機連)
〒162-0822 東京都新宿区下宮比町3-2 飯田橋スクエアビル8階B
TEL. 03-5225-6234 / FAX. 03-3260-9092
HP:<http://www.jfmda.gr.jp>

“早期発見”と“やさしい治療”を いち早く患者さんのもとへ

医療技術産業戦略コンソーシアム(通称 METIS (メティス))は産官学が連携し、平成 13 年に設立されました。研究開発から実用化までの戦略の検討や、開発インフラの整備等を行なうことにより、日本発の新しい医療機器の開発を推進しています。

また、医療機器の有用性や革新的な医療機器開発の重要性を広く国民の皆様へお伝えすることも本コンソーシアムの重要な役割です。



共同議長	荻野 和郎	日本光電工業(株) 代表取締役会長(医機連会長)
	梶谷 文彦	川崎医療福祉大学 副学長、岡山大学 特命教授
委員	相川 直樹	財団法人 国際医学情報センター 理事長、慶應義塾大学名誉教授
	遠藤 啓吾	群馬大学大学院 教授
	岡野 光夫	東京女子医科大学大学院 教授
	片岡 一則	東京大学大学院 教授
	川上 浩司	京都大学大学院 教授
	北村 惣一郎	独立行政法人 国立循環器病研究センター 名誉総長
	桐野 高明	独立行政法人 国立国際医療研究センター 総長
	楠岡 英雄	独立行政法人 国立病院機構大阪医療センター 院長
	下條 文武	新潟大学 学長
	小松 研一	東芝メディカルシステムズ(株) 相談役
	佐久間 一郎	東京大学大学院 教授
	服部 重彦	(株)島津製作所 代表取締役会長
	前野 一雄	読売新聞東京本社 編集委員
	森嶋 治人	オリンパスメディカルシステムズ(株) 代表取締役社長
吉田 安幸	旭化成クラレメディカル(株) 代表取締役社長	
和地 孝	テルモ(株) 代表取締役会長(医機連前会長)	
事務局	(日本医療機器産業連合会 METIS事務局)	
	原澤 栄志	日本光電工業(株) 取締役専務執行役員
	松本 民男	日本医療機器産業連合会 業務部長

医療技術産業戦略コンソーシアム (METIS)

Medical Engineering Technology Industrial Strategy Consortium
<http://www.jfmda.gr.jp/metis/index.html>

事務局: 日本医療機器産業連合会(医機連)内
〒162-0822 東京都新宿区下宮比町3-2 飯田橋スクエアビル8階B
TEL. 03-5225-6234 / FAX. 03-3260-9092

医療機器とは？

次のような多種多様の医療機器が診断・治療に役立っています。



画像医療システム

- ① X線 CT装置
- ② 超音波画像診断装置
- ③ 放射線治療装置
- ④ 診断用磁気共鳴装置 (MRI)
- ⑤ 診断用 X線透視撮影装置
- ⑥ 汎用画像診断装置
ワークステーション



光学機器

- ① 電子内視鏡
(本体/スコープ)
- 眼撮影装置
- 視覚機能
検査用装置

生体現象計測・監視システム

- ① 心電計
- ② 脳波計
- ③ 血圧計
- ④ 生体情報モニター
- ⑤ 多機能心電計
- ⑥ 光トポグラフィー



OAED



処置用機器

- ① 注射器具類
- ② チューブ・カテーテル製品
- 外科・整形外科用手術材料



医用検体検査機器

- ① 臨床化学自動分析装置
- 尿分析装置
- 医用検体検査機器
- 血球計数装置
- 血液検査機器



生体機能補助・代行機器

- ① 心臓ペースメーカー
- ② 人工呼吸器
- ③ 人工関節
- ④ 人工腎臓装置
- ⑤ 人工心肺装置
- ⑥ 麻酔器
- ⑦ 保育器
- 自動植込み型除細動器

医療機器とは？

理学療法用機器

- ①自動牽引装置
- ②低周波治療器
- レーザー治療器
- 赤外線治療器
- 超音波治療器
- マッサージ器



歯科用器材

- ①矯正用器材
- ②歯科用ユニット
- ③歯科用レントゲン
- ④電動歯ブラシ
- 歯科診療室用機器
- 歯科診療用機器



鋼製器具

- ①ピンセット・鉗子类
- 切断・切削器具
- 整形外科手術用器械器具



施設用機器

- ①滅菌装置
- ②洗浄装置
- ③熱傷治療機器
- 医療用吸引器
- 医療用照明器
- 手術台

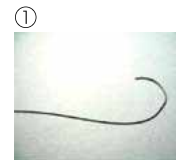
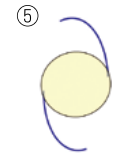
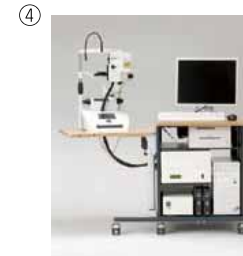


眼科用品

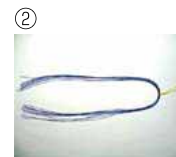
- ①視覚機能検査用機器
- ②検眼用品
- ③コンタクトレンズ
- ④眼撮影装置
- ⑤眼内レンズ

衛生材料・衛生用品

- ①医療脱脂綿
- ②医療ガーゼ
- ③救急絆創膏



- ### 医療用縫合材料
- ①針付縫合糸
 - ②縫合糸
 - ③縫合針



家庭用医療機器

- ①家庭用マッサージ器
- ②家庭用治療浴装置
- ③家庭用超短波治療器

補聴器

- ①補聴器



<写真提供>

(社) 日本画像医療システム工業会、(社) 電子情報技術産業協会、(社) 日本医療機器工業会
 日本医療器材工業会、(社) 日本ホームヘルス機器協会、日本医用光学機器工業会、(社) 日本歯科商工協会
 (社) 日本分析機器工業会、(社) 日本コンタクトレンズ協会、日本理学療法機器工業会、日本眼科医療機器協会
 (社) 日本補聴器工業会、(社) 日本衛生材料工業連合会、日本医療用縫合糸協会、日本眼内レンズ協会